

1. 研究目的

現在、様々なものが広告やWebページなどで宣伝されているが、画面を通して宣伝媒体を見る場合、名刺やチラシのように実際に取って見る場合とその宣伝内容の伝達に誤差が生じてしまう。

そこで、Web、名刺デザインを総合プロモーションすることで、宣伝媒体のコンセプトを明確にし、正しい情報を伝えるものにする。そのため、MSJミュージックアカデミーという、実際にある音楽学校の協力の元、研究を行う。

2. 調査と分析

現在、通常使われる宣伝媒体はWebページ、名刺、封筒がある。

①調査

- ・上記の媒体は同時期に作成されたものではなく、デザインコンセプトがバラバラである。
- ・Webページに関しては、不具合に修正せずに運営を続けているため、ページ各所で不明な点が多くある。
- ・現在のWebページは入れ子型テーブル構造によりページが作成されている。複雑で容量のあるページを表示する場合、フレーム構造を使うよりも快適に表示することが出来る。

②分析

Webページに関していえば不具合の修正をすることを前提とし、名刺等のデザインとともに明瞭なものとする。

名刺、封筒デザインは協力元のミュージックスクールの学校長と協議しながら制作していく。

3. コンセプトの立案

「単純明快」

すべての宣伝物のデザインコンセプトに一貫性を持たせることに気を配りながら制作する。

4. デザイン展開

- ・Webページデザイン提案

今回のWebページでは1ページあたりの容量が大きくないためフレーム構造という1つのページに2つのページファイルを読み込ませて表示するという方法をとる。この構造はリンクボタンとコンテンツページを分割するなどの使い方ができ

るため、今見ているページから次のページへと移動する際リンクボタンを探しやすいというメリットがある。

- ・名刺、封筒デザイン

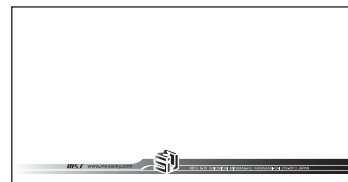
名刺デザインは音楽学校校長から提案された「真面目でアーティストっぽくないもの」ということから、そのことを踏まえたデザイン案を提案し、リテイクを繰り返し、完成させた。

封筒についても同様に協議を繰り返し行い制作した。

5. 完成図



<Webページ>



<封筒>



<名刺>

6. 結論

一般の人にWebページを見てもらった結果、現状のものよりも使いやすそう、わかりやすく、何度も見たくなくなるという感想をいただいた。

名刺に関しては学校長から明るく、見てわかりやすいという感想いただいた。

提案としては今回の研究は成功したといえる。HTMLだけでなく、XHTML、FLASH、CSSなどの現在使われているWeb開発手段に理解が深ければ、Webページとして、実際に動作するものを提案できると感じた。

7. 参考文献

『配色デザインのルール-美しい組み合わせにはワケがある。』オブスキュアインク、ワークスコーポレーション、2008